

機械器具 24
一般医療機器知覚検査又は運動機能検査用器具
背筋力計 (JMDN 34395000)

T. K. K. 5002 バック-A

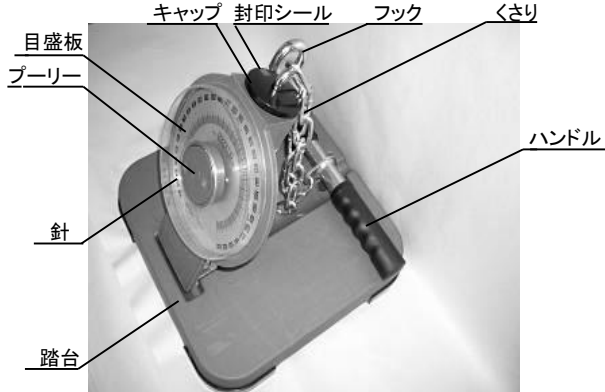
【禁忌・禁止】

「適用対象」

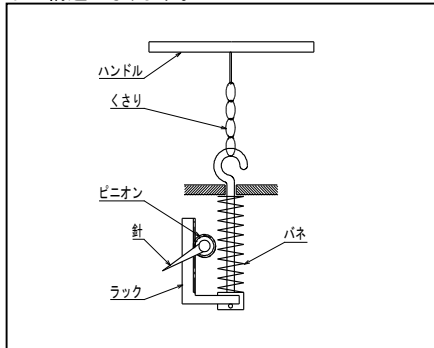
・腰痛で治療中の人は使用しないこと。
腰を痛めます。

【形状・構造及び原理等】

・本器は以下の構成になります。



・本器は以下の構造になります。



【使用目的、効能又は効果】

「仕様」

- (1) 測定範囲 0～300kg
(2) 読取最小目盛単位 1kg
(3) 測定精度 ① 200kg迄 ±6kg以内
② 200kg超 ±8kg以内
(4) 測定条件 温度 5～35℃ 湿度 30～80%RH (結露なきこと)

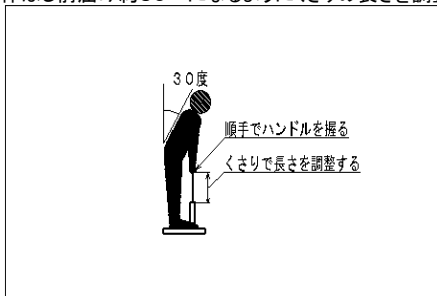
「使用目的」

・本器は背筋力測定に用います。

【操作方法又は使用方法等】

◎ 測定準備

- (1) 踏台に乗りハンドルを順手で握ります。ひざを伸ばしたまま、上体を伸ばし前屈み約30°になるようにくさりの長さを調整します。



- (2) プーリーを矢印方向に静かに回して、針を0に戻します。

◎ 測定

- (1) ひざを曲げないで上体を起こすよう徐々に引き上げます。
(2) 目盛板の針を読み取り記録します。
(3) ハンドルのくさをフックから外します。

【使用上の注意】

「装置の基本的な注意」

- (1) キャップは絶対に回さないでください。(封印シールをはがさない)
(2) 使用前の点検で異常があった場合は、使用せずに修理・検定を依頼してください。
(3) 本器の修理・改造・分解をしない。故障の原因になります。

「測定方法の注意」

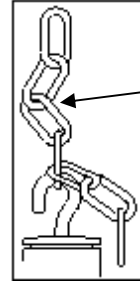
- (1) 測定の際、ハンドルを急激に引き上げないで下さい。腰を痛めます。
(2) 裸足で踏台に乗って測定しないこと。ケガをするおそれがあります。鞋底全体で力を受け止める運動靴又は、それに準じた靴を履いて測定してください。

- (3) くさりのかけ方について

- 正しいかけ方をしないとくさがりが破損し、ケガをするおそれがあります。

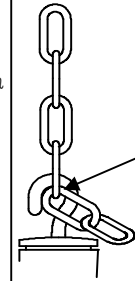
× 悪い例

・ねじれ



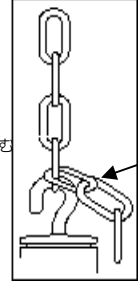
× 悪い例

・フックにはさむ



○ 良い例

・ねじれ・はさまない



余ったくさはフックの上から後側にたらす

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

「貯蔵・保管方法」

- (1) 水にぬれやすい・直射日光・高温多湿の場所に保管しない。
保管条件 温度 0～45℃ 湿度 20～85%RH (結露なきこと)
(2) 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に保管しない。

* 長期間使用しない場合は、附属の箱に本器を格納して保管してください。

「有効期間・使用の期限」

指定した保守点検・検定を実施した場合、耐用期間 7年(自己認証による)

【保守・点検に係る事項】

「使用者による日常点検事項」

点検項目	点検時期	点検内容
くさり・フック	使用前	変形・さび・傷のないことを確認する

「業者による保守点検事項」

点検項目	点検時期	点検内容
定期点検	年1回	専用検定器による検定及び補修

【包装】

包装単位

◎ 1台/1梱包

【製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者 株式会社SANKA

住所 新潟県加茂市後須田2445番地1

電話番号 0256-47-0788

取扱説明書を必ずご参照ください。